



http://www.paddlertama.com

パドラー・タマ

自 然 と 共 に

多摩市カヌークラブ会報
2010年 9月 Vol.62

発行：竹森 清貴
編集：遠藤 洋子
遠藤 哲
小篠 正慶
制作：村井 尚子

こんにちは、今年の夏はとにかく暑かったですね…というか、暑すぎ！今回のパドタマは盛夏号、ベストシーズンのイベントレポート満載号です。プール清掃から始まり、いろんな所で漕ぎましたねー。9月なので暦は秋でも、まだまだ講習会、ハロウィン、湖ツーリング…と予定盛りだくさんなので、秋も引き続き楽しみましょうね！今回のパドタマは右記のとおりです。(洋)

1. クラブ便りその1：今までの活動報告
2. クラブ便りその2：今後の活動予定
3. ストリーム便り：多摩川、青木湖、長瀬ツーリングの投稿文
4. エディ便り：万水川と犀川を下って@柳田さんからの投稿文
5. 事故報告：竹森さんより
竹森さん復帰！（7月）と思いきや、骨折（8月）という号に…

クラブ便りその1：今までの活動報告

1. プール清掃：6/13(日)・20(日)



例年どおり、両日の午前中にプール清掃を実施しました。参加された皆さん有り難うございました。今年はプールの水位を20センチほど下げて、水に浸かりプールの深い部分の泥を地道にすくい上げました。水位を下げた分は、雨水で補えると思っていたら、猛暑続きのため水が蒸発し、水位はさらに5センチ下がってしまいました。プールにだけ雨乞いしたいです。(芝田仁)

→色の違いがクッキリ！

2. 障がい者カヌー体験・市民カヌー教室①：6/27(日)【中止】

お天気は狙った通り、雨にも降られず、お日様のキラキラもなく、絶好の日和となりました。お手伝いの方々にもたくさん集まっていただきました。が、残念ながら、体験希望者も、教室にエントリーされていた方もいらっしゃらなかったため、和やかにプール練習を行いました。(永江)

3. 流水講習(多摩川・友田)：7/11(日)

曇天の中、平常水位より増水して強いパワーの流れにもめげず、何とか無事に流水講習を行いました。参加者は、安西、宇田、遠藤夫妻、大池、芝田親子、竹森、戸川、徳村、永江、長井、水野、村井、柳田、和田(恵)各氏の総勢16名でした。詳しくはストリーム便りで。(長井)



4. 市民カヌー教室②：7/25(日)

毎年障がい者体験に参加してくれているNORI君が来てくれました！「楽しみにしていて、自分で市報に掲載された案内を見つけてきたんですよ」とのお父様のお話をうかがって嬉しくなりました。たっぷり漕いで、カヤックを満喫してくれたのではないのでしょうか。しかし、教室にエントリーされていた方はまたまたいらっしゃられなく、板東さんのお知り合いのTANIAIさんが急遽参加されました。どのようにしたら、多くの方々に来ていただけるようになるのでしょうか？来年は『カヌー体験Day』のような形に変えてみたらどうかしらなどと考えていますが、何か良いアイデアがありましたら、是非、お知らせください。よろしく願いいたします。(永江)



5. 青木湖ツーリング：8/7(土)～8(日)

久しぶり(2005年10月以来!)に青木湖へ行ってきました。夏に行くのは初めてですね。メンバーは安西、小篠ファミリー3人、大池、遠藤(洋)、北村、芝田(仁)、大搭、戸川、徳村、中尾、村井、柳田、和田(恵)のクラブ員15名と、和田さんのお兄様の計16名。東京より過ごしやすいく気候でした。詳しくはストリーム便りでご覧ください！(遠藤洋)



6. ボーイスカウト・ガールスカウト体験教室：8/29(日)

今年も夏恒例の「BSGSカヌー講習」を開催しました。たぶん35度を超えてんだらうな～という、クソ暑い炎天下のコンクリートの照り返しの中、28名の少年少女たちはメチャクチャ元気にカヌーの順番を待っています。以前、汚れた水をポンプで抜いてから、まとまった雨が降らないので、濁水した水面は通常水位よりも遥か下で、パドルを使った自力の乗り降りができません。校舎に住んでいる鳩たちにとっても格好の給水所だったのに、さぞや困っていることでしょう…。ひと通り漕ぎ練習が終わったら、4組に分かれてリレーとボロを行い黄色い歓声に包まれました。最後に「カヌー、面白かった人」「ハイ！」、「またやってみたい人」「ハイ！」、「じゃあ、カヌークラブに入会したい人」「シーン…」って、おい！草食若人よ！もっと積極的になろうぜ！最後に、中村隊長より来年の同じ時期にも、またお世話になりたいとお願いされ、無事終了しました。今回、協力していただいたメンバーは、大池、芝田(仁)、戸川、板東、水野、柳田&長井の各氏7名でした。(長井)



7. 長瀬ツーリング：9/5(日)

年間予定では9/4(土)～5(日)の泊りがけの予定でしたが、直前に日帰りに変更して行いました。多摩14名+静岡2名、合計16名の大人数賑やかツーリング！参加者は、安西、宇田、浦辺、遠藤(哲)、遠藤(洋)、北村、芝田(仁)、芝田(保)、徳村、永江、水野、村井、柳田、和田(恵)の各氏と、静岡カヌークラブから木下さんと加藤さん。快晴で真夏のダウンリバーを楽しんできました。レスキュー練習も実施。詳しくはストリーム便りをご覧ください。(遠藤洋)



クラブ便りその2：今後の活動予定

1. プール練習について

今年はプールの水をいっぱい捨てて気合を入れて掃除しましたが、多摩地方は雨が少なくプールの水が少なくなっていますが、イベントの無い日曜日は10月終りまでの13時～15時はプールを開けていますので、週に一度のトレーニングと思って遊びに、練習に来てください。(水野)

2. 東愛宕小学校カヌー教室：9/12(日)



ここの所恒例の、東愛宕小子供達へのカヌー体験&着衣泳です。午前、午後の2部構成で行います。きれいな水での練習・水泳の特典付。詳細はメンバーメールしますのでサポートよろしくお願ひします。(小篠)

3. ハロウィン in 多摩センター：10月30日(土)～31日(日)

今年もハロウィン in 多摩センター2010に参加します。クラブの年間予定では10月23、24日となっていますが、日程が10月30、31日になりました。皆様の参加をお待ちしております。詳細は後日連絡します。(水野)



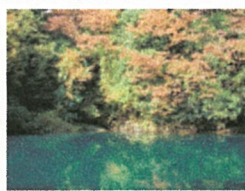
4. 芋煮会(プール納め)：11月7日(日)



シーズン締め芋煮会、西永山複合施設・調理室で開催します。12時～15時の予定ですが、買出し・調理の方からどしどし参加願ひます。会員無料(ご家族、友人は参加費500円/人お願ひします)もちろん、差し入れ大歓迎です！(小篠)

5. 白丸湖 紅葉ツーリング：11月14日(日)(仮)

今年の紅葉ツーリングは行き先を検討していましたが、候補地の中から白丸湖に決めました！白丸湖へのクラブツーリングは初めてですね。東京都西多摩郡奥多摩町、多摩川上流部にある白丸湖は「奥多摩カップ」のゴール地点のところ、ということでご存知の方も多しと思います。多摩川のまた違った一面を堪能しましょう！カヌーの後のランチは、皆で湖畔でサンドイッチなど作ってデイキャンプで秋の1日をenjoy！キャンプ適所など情報募集中です。(遠藤洋)



6. 忘年会：12月11日(土)

少し早いかもしれませんが、忘年会の案内です。一年間のパトリング、ツーリング等の反省を含めた楽しい会です。場所は未定ですが、予定表に入れておいて下さい。詳細はメールします。(芝田仁)

7. クリスマスツーリング：12月19日(日)

ちょっと気が早いですが12月のお誘いです。今年もクリスマス企画を計画中です。御岳の河原で、漕いだ後にクリスマスケーキを食べましょう！冬の日射しの下のコーヒータイムは楽しいひととき。椅子・テーブルを出してゆっくり過ごしましょう。晴れば暖かいですよ。当日はツーリング組、河原散策組、キャンプ定点班など、この日の過ごし方はそれぞれ。河原班&キャンプ地には、ご家族や知人の方の参加もOです！キャンプ班の方がいれば、あたたかいメニューも用意して頂けると最高です♪昨年様子は、パドタマ60号をご参考下さい。(遠藤洋)



ストリーム便り：流水講習(多摩川・友田)：7/11(日) @竹森さんからの投稿文です

コース：多摩川釜の淵公園～河辺市民球技場(約3km) / 行程：8:30 西永山プール出発→10:00 現地到着、14:30 現地出発→16:00 西永山プール着 / 参加人数：16名 / ツーリングリーダー：永江 / ツアーリーダー：長井 / パトリング講師：遠藤哲 / グループリーダー：永江・長井・遠藤哲 / バックアップ：遠藤洋・村井・水野

行程はおおよそ4km、天気はくもり、水位は20cm高、夏のこの時期にしてはコンディションよし。出発前のなんとも言えない緊張感をリーダー達が、なごませる。今日は、ダッキーの進水式、徳村さんの沈のないツーリングを祈る。今日が初めての安西さんは、からだは大きい、気持ちは……。

そして今日は、私こと竹森の10年ぶりの川行、村井さんから、“元氣だして”の声がかかる。川に入る前から、疲労感が漂う。すぐ終わるからと言い聞かせながら、艇を運ぶ。

久しぶりの大パーティになった。総勢16名が3班にわかれ、永江さん、長井さん、遠藤さんをリーダーに皆が続く、期待と不安を乗せて、川へ漕ぎ出す。すべりだし好調。久しぶりの流れで、バランスを戻すのに力が入る。力が入れば、一抹の不安がよぎる。そんな繰り返しと緊張がつづく。初めて川へ降りたとき



→竹森さん、笑って！



の様な不安はないが、前のめりに、突っ込む気がおきない。静かに行くかと一人決める。

しばらく進んで、遠藤さん講師の、ストリームインの練習が始まった。最初に安西さんが沈、それを追って村井さんが、私の横で、何か叫んで沈。いつもなら手が出るが、全くなにもできない。見ているだけ。村井さんはあえなく沈脱となる。これが沈の幕開け……。また流れにもどり下り始めるが、3班にわかれたものの沈続出、入り乱れての川行になってきた。

いつもならと思いつつ、徳村さんを見る、まるで悠々自適である。ダッキーであれば楽しい川行になりそうである。今日は珍しく、水野さんが参加、カヌーが小さくみえる。だいぶ大きくなった様だ。大池さんは一人緊張感を走らせてはいるが、艇が身体に合うせいか、幾分楽しそうでもある。

やっと中間点、昼だ。皆、元気で楽しそうだ。昼の間は話し声や笑い声が絶えない。そう、いつもこんなだったなと、思い出す。洋子さんは何はかとはなく、みんなに気配りして回りを見ている。誰が何を云わなくても、それぞれが気遣い、気持ちのいい空気がながれている。川の流れも、よどみなく爽快だ。



ストリーム便り：青木湖ツーリング：8/7（土）～8（日）@和田恵美子さんからの投稿文です



灼熱の東京を抜け出し、青木湖へ！長野県に入ると上空に雲が立ち込めてましたが、到着予定時刻の10時にはほどよく晴れて申し分ない天気！

青木湖キャンプ場で遠藤洋子さんが受付を済ませ、タープ、テントを張り、ファルトの組み立て。その間に車1台は近所のスーパーに買い出し。乾杯＆昼食を食べて14時頃に漕ぎ始めました。

参加者は16名。カヤック11艇、カナディアン1艇、ファルト1艇。申し遅れましたが、今回初参加で和田兄（文雄）もご一緒させていただきました。

北村リーダー先導でいざ出発！と思いきや、和田兄弟のファルトが前に進めず…、わずか10分で兄弟船撃沈し、私は早々に村井さんと交代をしました。

しばらくゆっくりと湖を沿うように緑を眺めていましたが、北村リーダーが「あの木まで競争だ！」との指令。その瞬間全員の漕ぎ手がフル回転。スルスルとみんなを追い越し一番になったのはなんと村井さんと和田兄のファルト。二人合わせるとスピードがすごい！

再び平和な時間が訪れ、出発地点と反対側の湖畔で休憩＆水遊び。先程まで具合が悪かった雪乃ちゃんもこの頃には復活し、淨き輪で慶吾くんとおハシャギ。みんな童心に帰ってしばらく水の中で楽しんでいました。

15時過ぎ、再び乗り込んで出発。北村リーダーと私でファルトに乗り先導を取っていると、北村さんの艇をお借りした和田兄がくるくる回って進まない！でもみなさんの親切な指導を受けてやっとこさ出発地点到着。お騒がせいたしました～(;-;)。

全員無事到着し、気を取り直して（兄弟的に）夕飯の準備。今夜は中尾さん差し入れのジャガイモを使った夏野菜カレー！カレーの上には色とりどりの夏野菜やシーフードをON！料理を作る間もおつまみが出たり、お腹がいっぱいになっても別腹の村井

さんのダッチオープン料理（焼き豚）。トウモロコシもおいしかった！いつもながらみなさん料理上手で感激しました！

→仲良し兄妹



料理の後は花火で再び童心に帰る大ハシャギ。焚き火を囲った大人たちは昔話に花を咲かせて、夜はしつぱりと更けてゆくのでした。

→早朝カヌー



翌朝は早い時間からカナディアンで爽やかな朝日の降り注ぐ湖畔を散策していました。

朝食はお好みサンドイッチと一晚寝かせたジャガイモスープ。昨晩残ったカレーも大人気でした。

片付けを終え、キャンプ場を出発。道の駅 安曇野松川で直売の野菜をみんな購入。焼きたてのおやきも美味しかった！

少し渋滞につかまりながら、途中SAで昼食をとり、16時には全員無事に永山施設に到着しました。

私は初めての湖でしたが、普段の緊張した川下りと違った楽しさがあり大変楽しかったです。兄共々お世話になりました。ありがとうございました。秋の白丸湖も楽しみですね！



普及部より 夏の青木湖も良かったですね！湖畔にせりだす木々のトンネルをくぐるのは、青木湖の醍醐味！波立っていないので漕ぎやすく、湖面は鏡のようにキラキラと輝いてキレイでした。キャンプ場はおなじみの湖畔エリアがとれて良かったです。我々は行きませんでした。人気の夜のホタルツアー、機会があればやってみてもいいですね。（洋）

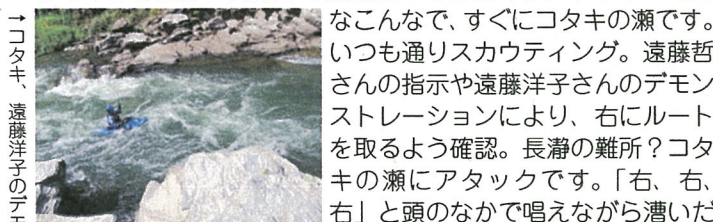
ストリーム便り：長瀨ツーリング：9/5（日）@芝田保子さんからの投稿文です

9月だというのに夏の暑さが続く良いお天気の中、長瀨ツーリングに行ってきました。国立インター近くのファミリーマートに6時30分に集合し、今回は高速を利用。国立インターから花園インターまで渋滞も無く快適なドライブとなったと思います。ドライバーの皆さん、どうも有難うございました。

9時30分頃、長瀨に到着。静岡カヌークラブの木下さん、加藤さん、前日より長瀨入りしていた徳村さん、柳田さんと合流し、総勢16名の大所帯となりました。回送、装備を整え10時30分頃に少し上流の「親鼻橋下流」から「セイゴの瀬下流」からの2班に分かれスタートとなりました。せっかく長瀨まで来たので少し怖いけれど、少し上流からスタートしました。「あっ」という間に皆さんと合流し、本格的にツーリング開始です。開始直後、とろ場が続いていたのでロールの練習をしてみました。失敗！！沈脱第1号は私です。トホホ…そんなこんなで、すぐにコタキの瀬です。いつも通りスカウティング。遠藤哲さんの指示や遠藤洋子さんのデモン



ストレーションにより、右にルートを取るよう確認。長瀨の難所？コタキの瀬にアタックです。「右、右、右」と頭のなかで唱えながら漕いだ



→コタキ、遠藤洋子のデモ

→ロープレスキューの練習



せいか、右に寄りすぎてしまい、何も無い所を通過。せっかくの瀬だったのに残念！！惜しいことをしてしまいました（泣）。次回は瀬を楽しむぞー。

その後、瀬やゆったりとした流れや談笑を楽しみながらダウンリバー。途中の河原で昼食をとり、ロープレスキューの練習をしました。暑い日だったので、レスキューされる役の方達も気持ち良さそうでした。沈脱したり、ルートを間違えたり、指示を見ていなかったり（反省）…と色々ありましたが、全員無事に川を楽しめたのではないのでしょうか。

着替え等をし、15時30分頃長瀨を出発。花園インターから国立インターまで高速を利用。八王子―国立間は渋滞していたものの18時30分頃にはプールに到着。片付け等を済ませ、19時頃の解散となりました。皆さんどうも有難うございました。



普及部より 真夏の長瀨、ライン下りやラフトも多かったですね。コタキの瀬など数ヶ所は3班に分かれて下りました。レスキュー練習では、ロープを投げるのもつかまるのも難しい…と実感。機会を作り皆で練習を重ねましょう。景観も良く、チャレンジしがいのある瀬もある長瀨、または是非！（洋）

エディ便り：8/5（木）～6（金）万水川と犀川を下って@柳田さんからの投稿文です（個人ツーリング）

8月5日、青木湖ツアーの2日前から板東さん徳村さんと柳田で万水（よろずい）川と犀川を下ってきました。初日気温36度水温16度無風。実際カヤックを降ろしたのは蓼（たで）川で万水川との合流点から2百メートル上流でした。川は澄んでいて川底の草や小魚が泳いでいるのが見えました。

漕ぎ出すとすぐ大王わさび園の脇と水車小屋を通ります。ここには観光用のラフトがあり静かに回る苔むした水車を観光客がラフトから写真を撮っていました。ここを過ぎるとすぐ万水川に入ります。川の流は急に速くなりますが鬱蒼とした樹木の下で音も無く下ってゆくと間もなく瀬の音がしてきました。穂高川と高瀬川の合流です。水量は余り無かったものの右巻き左巻きの渦と沸き立つような流れの中をただししゃかりきになって漕ぎました。この合流点から万水川は犀川と名を変えます。さらに犀川は千曲川となり信濃川となって日本海に注いでいます。



↑水車が復活していますね



ここから5キロ程は初めて見る川岸の景色と白い雲を楽しみました。途中1級程の瀬も幾つかありましたがカンカン照りの中を漕いでゆくと木戸橋に差し掛かりました。左前方に水しぶきを上げている大岩。その少し先右側には橋脚があり川は

45度位左に曲がります。波もたっています。右の橋脚に近寄らないように懸命に漕いだのですが殆ど橋脚近くまで引き寄せられてしまいました。徳村さんもここを無事通過しましたがそのあと川の真ん中の浅瀬で座礁しパドルを竿にして小石とかなりの間格闘していました。やっと格闘に勝利して離礁に成功、3人もほっとしました。いくつか2級位の瀬はありますが川幅は広く避けても通過できます。板東さんは8割位の瀬に突込み、なおかつサーフィンを楽しんでいました。私も何回か板東さんの真似をしてサーフィンを試みましたが少し楽しかったです。



予定の中村マレットゴルフ場のビーチで上陸、一度も休まず約7キロ、約1時間45分の行程でした。ここからタクシーで大王わさび園まで戻りました。（料金は2800円）

翌日は犀川をさざなみ荘から大原橋まで約10キロメートルスムーズに下りました。2日とも天気恵まれ他の艇会うこともなく、多くのアオサギ、燕、トンボに出会いました。

川の管理の為とはいえ、川岸にやたらとテトラポットが敷設してあり美しい自然の川岸が無神経に土足で踏まれているようでとても残念に思いました。

事故報告：8/14（土）多摩川（御岳）@竹森さんより

7月中旬、10年ぶりに、多摩川に復帰しました。3回目の川行、8月14日（土）、御嶽、いつもの放水口から下り、此で行けそうと実感した矢先、事故に遭遇し、右鎖骨を骨折してしまいました。本人としても、クラブとしても、誠に残念です。事故にあったのが私で幸いでした。これが皆さんや、ご家族に事故があったとなれば一大事です。クラブはこれまで大きな事故もなく、一昨年20周年を迎えました。“安全で楽しいカヌーの実践”という理念を、“自分の命は自分で守る”というクラブ員共通の、価値観に支えられたクラブ活動を実践してきました。大いに反省する次第です。今後は当クラブでは、安全対策、事故が起きたあとの対応を検討して参ります。各位におかれましては、充分に注意し“安全で楽しいカヌーの実践”に、いよいよ精励されることを、お願い致します。

下記に概要を報告します。

■発生日時：2010年8月14日（土）午前11：15分前後

■発生場所：奥多摩町御岳小橋下流、通称“はっ沈の瀬”

■関係者：けが人：竹森清貴、

ラフト運用会社：コンセプト 代表者 小田弘美

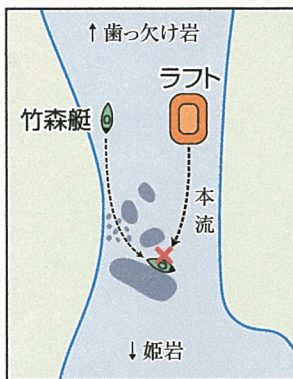
■怪我の状況：右鎖骨骨折

■事故の状況：本人は上流にて沈脱のレスキュー対応中に、事故現場まで流され、荒れ場から脱出しようとしている最中に、8人乗りの商業用ラフトに左やや後方から衝突され、そのまま、カヤック艇もろとも“はっ沈の岩”にたたきつけられた。右肩、上半身、右側頭部やや前方を強打し、右鎖骨を骨折した。

■治療：現場近くの奥多摩町古里診療所にてレントゲン検査した後、すみやかに帰宅し、当日午後、自宅近くの接骨院にて治療処置済み、8月19日脳外科にてMRIによる、頸椎の検査を実施、特に異常なしの診断をえる。

■その後の状況：4週間を経過し、回復基調に入り、治療とリハビリ訓練を同時に行う段階に入っている。仕事は既に復帰し、通常に勤務をしている。

■クラブの対応：障害保険の申請、9月役員会にて今後の安全対策など、検討事項の整理開始。安全マニュアルの見直し、レスキュー訓練の計画的な実行、事故後の対応手順、等の検討。



役員会より：まずは竹森さんのこのたびの事故につきまして御見舞い申し上げます。一日も早いご回復を、心からお祈りしております。今回は急遽このパドタマ誌面にて、事故にあわれたこと、そしてその状況を会員の皆様にもご報告頂く為に竹森さんに書いて頂いたものです。御岳へは今回有志7人で出掛けたのですが同行者は誰も事故の瞬間を見ていませんでした。なお役員会では、今回の対応、今後の対策について話し合いを進めていきます。また別の機会の皆様にもこの件では御連絡致します、宜しくお願い致します。

編集後記

猛暑の夏でしたが、逆に水の上ではとても気持ちの良い夏を満喫できたのではないのでしょうか？皆さん、いかがですか？満喫しましたか？欲望は際限が無く、何度漕いでもまた行きたい、早く行きたいと葛藤を続けています。個人的にはついに？初！

御岳上流を経験し、素晴らしい夏となりました。しかし、今回事故にあわれた竹森さんの早い回復と現場への復帰を願っています。

まだまだイベントはあります！楽しいカヌーライフを満喫しましょう！次号は12月の発送予定です。お楽しみに！（小篠）